

チェアサイドキューム CS-3

(マイクロモーター内蔵)

取扱説明書

作成履歴

初版:2025 年 5 月 9 日

アウス株式会社

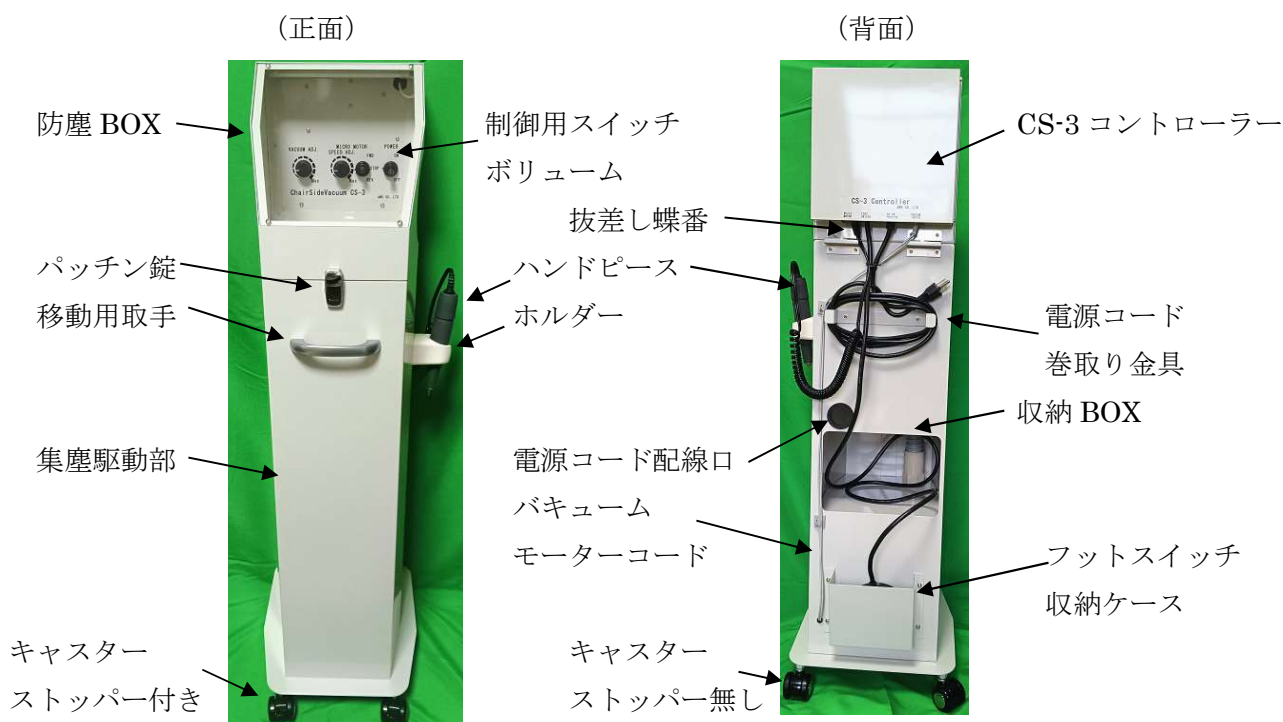
この度はチェアサイドバキュームCS-3をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございました。

この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前に取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

1 特徴

- ・ チェアサイドで、義歯調整に手軽に使えます。
- ・ 切削粉塵・破片が院内に飛び散るのを防ぎます。
- ・ マイクロモーター制御内蔵、ハンドピース付属
- ・ コンパクトな設計、金属製で頑丈な構造。
- ・ 600W モーター搭載で集塵力は強力
- ・ 粉塵の処理は紙パックを交換するだけでOK
- ・ 背面に収納BOXがあり、保管時にフットスイッチ等の収納が可能です。

2 各部の名称



3 設置

① 組立て

- ・ 最初に集塵駆動部の底板に 14mm スパナを使い、キャスターを取付けます。前側にストッパー付き 2 個、後側にストッパー無し 2 個を取付けます。
- ・ 集塵駆動部を立てて、集塵 BOX を乗せ、防塵 BOX を 90 度傾けた状態で、背面側の抜差し蝶番を差込み、取付けます。



(注意) 本装置の移動は転倒防止のため必ず本体前面の取手を使って移動してください。

② 集塵紙パックの取り付け

- ・ 紙パックを金具に取付け、右のようにセットします。
- ・ 集塵 BOX を下ろして、パッチン錠を締めます。
- ・ 紙パックは東芝の VPF-5 または VPF-5 互換品を使用してください。
- ・ 他の集塵紙パック製品を使用すると研磨、切削くずが外に漏れる場合があります、またモーターに負担がかかりモーターの寿命が劣化する場合があります。

特にゴムシールのない紙パックを使用すると故障しやすくなります。



③ ケーブルの接続



- ・ 集塵駆動部から出ているモーターコードを VACUUM MOTOR 表示のソケットに差込みます。
- ・ AC コードのコネクタを AC IN 表示のソケットに差込み、反対側のプラグを AC コンセント（電源容量 15A 以上）に差し込みます。
- ・ フットスイッチのコードを FOOT SWITCH 表示のコネクタに差込みます。
- ・ ハンドピースのコードを MICRO MOTOR 表示のコネクタに差込みます。

④ マイクロモーターハンドピースの準備

1) 先端工具の着脱方法

- ・ モーターケースを持ち、コレットチャック開閉リングを R⇔S 表示の方向にカチッと音が出るまで回すと、コレットチャックの開閉が出来ます。



2) 使用上の注意事項

- ・ 使用できる先端工具はバー径 2.35mm のみです。
- ・ 先端工具の交換は電源を OFF にして行ってください。
- ・ 先端工具を交換する際は先端工具とコレットチャックに塵や油が付着していないことを確認してください。
- ・ 先端工具を装着しない状態でコレットチャックを締めないでください。壊れる恐れがあります。

4 使用方法

- ① コントローラーの主電源スイッチを **ON** にします。
- ② モーターが廻り、**LED** バーライトが点灯します。
- ③ 照明位置は変えられますので、見やすい位置に設置します。
- ④ バキューム調整ボリュームで吸引力を適切な強さに調整します。
- ⑤ マイクロモーター選択スイッチを **STOP** から **FWD** または **REV** に切替えます。
- ⑥ フットスイッチを踏むとマイクロモーターが回転します。回転数は **SPEED** 調整ボリュームで調整します。
- ⑦ 作業が終了したら、マイクロモーター選択スイッチを **STOP**、主電源スイッチを **OFF** にします。

注意：長期間使用しない場合はコンセントからプラグを抜いて下さい。

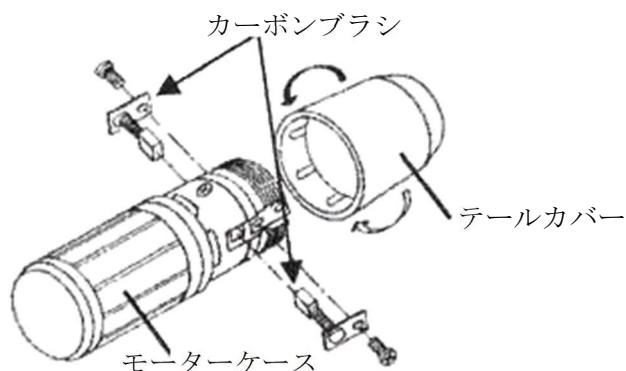
5 メンテナンス

① バキュームの保守

- ・ 紙パックが粉塵でいっぱいになりますと吸引力が低下します。また、故障の原因になりますのでこまめに紙パックを交換してください。交換目安：吸引力が低下した時が交換時期です。
紙パックの交換は集塵 **BOX** を開けて新しい紙パックと交換します。紙パックをセットするときは必ず紙パックを広げて取付けてください。
- ・ 紙パックは付属品で付いていますが、無くなりましたら市販の掃除機用を使用してください。東芝の **VPF-5** または **VPF-5** 互換品をお勧めします。
- ・ フィルターは2枚ですが汚れたら粉塵を取り除くか、新品を購入して交換してください。
- ・ バキュームモーター、カーボンブラシの交換方法は最終ページの資料によります。

② マイクロモーターの保守

- ・ カーボンブラシの交換



- ・ カーボンブラシは消耗品です。減ってくると回転ムラが出てきますので、交換してください。購入時に1組添付されていますので、1回のみ交換が可能です。
- ・ テールカバーを回して外します。
- ・ カーボンブラシの金具を止めているネジを外して、カーボンブラシを2ヶ所とも取り出します。
- ・ 付属のカーボンブラシを入れ、ネジを止めてください。

- ・ マイクロモーターハンドピースの交換について
使用可能なものは次の通りです。

SDE-H37L1 (DC30V 35000rpm 2.35mm)

他の交換可能品

SDE-H37LN (回転数 45000rpm、他は SDE-H37L1 と同じ)

6 仕様

- ・ 寸法 W 2 1 0 × D 2 4 0 × H 9 2 0 mm
- ・ キャスター台サイズ W 2 7 0 × D 3 0 0 mm
- ・ 電源 1 0 0 V 7 0 0 V A 5 0 / 6 0 H z ヒューズ：1 5 A
- ・ 重量 1 5 k g
- ・ 使用環境：周囲温度－5～3 5℃ 相対湿度9 5 %以下
- ・ バキューム仕様
モーター型式：ML1060BS
性能：最大風量2.4 m³/分 最大真空度1 6.0 k Pa（モーター単体）
吸引力調整：ボリュームによる
集じん容量：最大3.3 ^{リットル}
- ・ マイクロモーター仕様
ペンシル型式：SDE-H37L1 DC30V 35000rpm バー径：2.35mm Shiyang 製
電圧：DC 0～3 0 V（ボリュームにより調整）

*仕様は改善などのため予告なく変更する場合がございます。

7 付属品

- ・ 取扱説明書、保証書 各1部
- ・ 紙パック1袋（5個入り） 東芝製VPF-5またはVPF-5互換品
- ・ マイクロモーターハンドピース 1セット（専用工具2個、カーボンブラシ1組2個）
- ・ ロビンソンプラシ 10個
- ・ フットスイッチ 1個
- ・ 3P電源コード、AC3P2P変換アダプター 各1個

8 アフターサービス

- ・ 保証書は記載事項をご確認のうえ、大切に保管して下さい。
- ・ 保証期間内にお客様での正常な使用で万一保障が生じた場合、保証書の記載内容の範囲内で無償修理致します。本品の保証期間は購入日から1年間です。また、消耗部品（カーボンブラシなど）は含まれませんのでご了承ください。
- ・ 保証期間経過後の修理について、修理により製品の機能が維持できる場合には、有料にていたしますので、購入先に連絡下さい。
- ・ お問い合わせは購入先または以下の当社（製造元）まで
アウス株式会社
〒179-0084 東京都練馬区氷川台4-2-1
[TEL:03-3935-9221](tel:03-3935-9221) [FAX:03-3935-8118](tel:03-3935-8118)
[URL:http://www.aws.co.jp](http://www.aws.co.jp)

<付録：モーター、カーボンブラシの交換要領>

<モーター適用機種> ML1060BS

<使用工具>ハンダゴテ（カーボンブラシ交換時のみ必要）、＋ドライバー、－ドライバー（小）

- ① 本体の電源プラグをコンセントから外し、中の紙パックを取り外します。
- ② 本体を横に寝かせ、底板のネジ8本を緩めて底板を取り外します。（図1）
- ③ モーター端子に接続されている電線を抜き、モーター取付板の外側のネジ4本を緩めて、モーターを取出す。（図3）

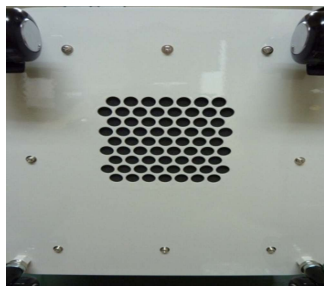


図1 バキューム本体の底板



図2 底板を外した状態

モーター端子
モーター取付板

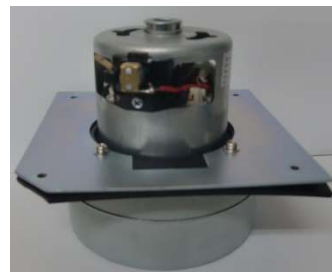


図3 取出したモーター

- ④ モーター交換する場合には、モーター交換し、⑩項へ。以下はカーボンブラシの交換作業です。
- ⑤ ハンダゴテを使い、モーターリード線のハンダ付けを外します。
- ⑥ カーボンブラシを止めているブラシホルダーの爪を、－ドライバー等で起こして、ブラシホルダーの中に入っているカーボンブラシを取り外します。



図4 ハンダ付け部



図5 ブラシホルダーの爪



図6 カーボンブラシ取出し



図7 カーボンブラシ取り外し後

※すり減ったカーボンブラシを取り出した時点で必ず掃除機でブラシホルダー内及びその周辺のブラシのカーボン粉を取り除いてください。

- ⑦ ブラシホルダーに新しいカーボンブラシを奥の方まで押し込み、カーボン部がスムーズにスライドするのを確認してから、トッププレート ブラシホルダーの爪部にはめて爪を折り固定します。
- ⑧ ハンダゴテを使い、モーターリード線のハンダ付けをします。



図8 新しいカーボンブラシの挿入

ブラシホルダーの爪部
トッププレート
ハンダ付け



図9 カーボンブラシ交換完了



図10 底板フィルター

- ⑨ もう片方のブラシホルダーに対しても同様にカーボンブラシの交換を行います。
- ⑩ モーターを取付け、底板をネジで固定します。

※底板フィルターにカーボンが付着し、黒く汚れている場合はフィルターを交換してください。

- ⑪ 中の紙パックを取り付け、電源プラグを接続します。
- ⑫ 電源を入れ、吸引動作に異常がないことを確認します。